

年頭のご

明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎え、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

東日本大震災や台風による自然災害が多発するなかにあつて、穏やかな年の瀬を迎え、そして、新年を迎えられる事の幸せを私達は常に忘れてはなりません。合わせて白鷹の素晴らしさを再認識するとともに、更なる発展を願うものであります。

さて、昨年を振り返りますと3月11日には、未曾有の東日本大震災が発生し、東北各県で多くの犠牲者が出ました。ご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を期待したいと思います。

想像をはるかに超えた災害に対し、わが町の防災計画も大幅に見直し、防災体制の強化充実、さらには、地域防災組織との連携強化を図らなければなりません。

また、4月に執行されました町議選においては、14名の定数に7名の新議員が誕生しました。行財政改革を推進する立場から、自らが襟を正し、選良である事を認識し、当局と常に適度の緊張感を保ちながら、両輪としての議会の立場を忘れることなく、町民の皆様の負託に応えていかなければなりません。

わが町は今、第5次総合計画を進めるなか、鮎貝の「四季の郷」に新たな企業誘致が決定するなど明るい話題も見えてきたところではありますが、人口減少、フラワー長井線問題など、課題も多く抱えている現状にあります。その中でも、荒砥高等学校存続が最大の山場を迎えます。町・議会・町民が一体となり定員確保に取り組む必要があります。

今後とも、議会の活性化を図りながら、町政発展のための町民の皆様方の声を拝聴しながら課題解決に向けさらなる努力をしまいる所存であります。

以上、年頭にあたり所感と決意の一端を申し上げ、町民皆様の幸せを願いながらご挨拶いたします。

白鷹町議会議長 青木 彰 榮

